

01027

鳥取縣公報

縣令

昭和二十年六月十九日
第千六百三十五號

火曜日

本書ノ大キサハ國定規格Aノ列

◇鳥取縣令第二十五號

昭和十七年八月鳥取縣令第六十號戰時災害保護法施行細則
中左ノ通改正シ昭和二十年六月一日ヨリ之ヲ適用ス

昭和二十年六月十九日

鳥取縣知事 高 橋 庸 彌

第二十條第二項第四號中「死亡診斷書」ノ下ニ「死体檢案書又ハ死亡ノ事實ヲ證スル公ノ證明書」ヲ「戶籍謄本」ノ下ニ「又ハ之ニ準スベキモノ（死亡シタル者ノ死亡ノ時以後ニ於ケル申請者ノ身分關係ヲ明瞭ニシ得ルモノ）」ヲ加ヘ、第二項ニ左ノ但書ヲ加フ
「但シ第十八條ノ證明書又ハ第四號ノ規定ニ依ル添付書類ニ付テハ已ムヲ得ザル事由ニ因リ之ヲ得ルコト能ハザル場合ハ此ノ限ニ在ラズ」

第二十四條第一項ヲ削リ第二項ヲ第三項ニ改メ左ノ二項ヲ加フ

「扶助ヲ受ケントスル者ハ第十號様式ニ依リ其ノ住所地市町村長ヲ經由シ知事ニ出願スベシ」

「前項ノ出願書ニハ第十八條ノ證明書又ハ戰時災害ニ罹リタルコトヲ證スル公ノ證明書（以下罹災證明書ト稱ス）ヲ添付スベシ 但シ已ムヲ得ザル事由ニ因リ之ヲ得ルコト能ハザル場合ハ此ノ限ニ在ラズ」

第二十五條第一項及第二項中「戶籍謄本」ノ下ニ「又ハ之ニ準スベキモノ（傷痍ヲ受ケ若ハ疾病ニ罹リタル者又ハ死亡シタル者ノ受傷罹病又ハ死亡ノ時以後ニ於ケル扶助ヲ受ケントスル者ノ身分關係ヲ明瞭ニシ得ルモノ）」ヲ加フ

第三十六條第二項中「第四十四條ノ證明書」ヲ「罹災證明書」ニ改メ左ノ但書ヲ加フ

01028

「但シ已ムヲ得ザル事由ニ因リ之ヲ得ルコト能ハザル場合ハ此ノ限ニ在ラズ」

第三十七條第一項中「令第九條規則第十四條及第十八條」

ヲ「令第九條及規則第十四條」ニ改メ

第二項中「第四十四條ノ證明書所要欄」ヲ「罹災證明書」ニ改ム

第三十八條第二項ヲ左ノ如ク改メ「戶籍謄本」ノ下ニ「又ハ之ニ準ズベキモノ(死亡シタル者ノ死亡ノ時以後ニ於ケル申請者ノ身分關係ヲ明瞭ニシ得ルモノ)」ヲ加フ

「前項ノ給與金支給申請書ニハ罹災證明書ノ外住宅又ハ居住ノ用ニ供スル舟ニ付テハ其ノ所有者タルコトヲ證スル書類ヲ所有者死亡シタルニ依リ其ノ遺族ヨリ申請スル場合ニハ左ノ書類ヲ添付スベシ 但シ已ムヲ得ザル事由ニ因リ之ヲ得ルコト能ハザル場合ハ此ノ限ニ在ラズ」

第四十一條第二項中「第四十四條ノ證明書」ヲ「罹災證明書」ニ改メ同項ニ左ノ但書ヲ加フ

「但シ已ムヲ得ザル事由ニ因リ之ヲ得ルコト能ハザル場合ハ此ノ限ニ在ラズ」

「但シ已ムヲ得ザル事由ニ因リ之ヲ得ルコト能ハザル場合ハ此ノ限ニ在ラズ」

第四十二條第一項中「令第十一條規則第十七條及第十八條」ヲ「令第十一條及規則第十七條」ニ第二項中「第四十四條ノ證明書所要欄」ヲ「罹災證明書」ニ改ム

第四十三條第二項中「第四十四條ノ證明書」ヲ「罹災證明書」ニ改ム

「令第十八條ノ證明書所要欄又ハ罹災證明書」ニ改ム

第五章 雜則第四十四條及第四十五條ヲ削ル

訓令

鳥取縣訓令第十八號

各地方事務所長

昭和十九年五月五日鳥取縣訓令第十四號地方事務所長在勤手當支給規程中左ノ通改正シ同年六月一日ヨリ之ヲ適用ス

昭和二十年六月十九日

鳥取縣知事 高橋 庸 彌

第二條 在勤手當ノ支給額ハ左表ニ依ル

名	月	額

01029

所長	書記官タル所長	三十五圓
次長	他	二十五圓
課長及高等官並ニ同待遇者		二十圓
判任官 及同待遇者		十五圓
其ノ他		十圓
六圓		六圓

鳥取縣告示第二百三十八號

鳥取縣草履、草鞋等集荷配給統制要綱左ノ通定ム

昭和二十年六月十九日

鳥取縣知事 高橋 庸 彌

鳥取縣草履、草鞋等集荷配給統制要綱

第一 草履、草鞋等ノ生産並集荷配給ハ本要綱ノ定ムル所ニ依リ統制ヲ行フモノトス

第二 本要綱ニ於テ草履、草鞋等トハ藁又ハ竹皮ヲ主要原料トスル草履、草鞋及藁靴(竹皮及藁草履表ヲ除ク)ヲ謂フ

第三 縣、草履、草鞋等ノ軍需並重要事業場ノ需要ヲ充足スル爲市町村ニ對シ生産ノ割當ヲナスモノトス

第四 市町村ハ縣ノ割當數量ニ基キ草履、草鞋等ノ生産ヲ業トスル者ニ對シ生産ノ割當ヲナスモノトス

第五 前項ニ依リ生産シタル草履、草鞋等ノ集荷配給ハ鳥取縣農業會(以下單ニ縣農業會ト稱ス)ニ於テ之ヲ行フモノトス 但シ特別ノ事情ニ依リ知事ノ承認ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第六 縣農業會ニ非サレバ左ニ掲グル場合ヲ除クノ外生産者ヨリ草履、草鞋等ヲ買受ケ又ハ販賣ノ委託ヲ受ケタルコトヲ得ザルモノトス

(一) 縣農業會ノ委託ヲ受ケタルモノノ買受ケル場合

(二) 生産地内居住消費者ガ自家用トシテ少量ノモノヲ生産者ヨリ買受ケル場合

第七 縣農業會ガ集荷シタル草履、草鞋等ノ配給ハ總テ縣指示ニ依リ軍用重要工場事業場向其ノ他大口消費ニ付テハ縣農業會ヲシテ直接配給セシメ一般民需ニ付テハ市町村農業會又ハ商業組合ヲシテ配給セシムルモノトス

第八 縣農業會ハ毎月其ノ取扱ヒタル數量ニ付翌月十日迄ニ別記様式ニ依ル報告書ヲ縣ニ提出スルモノトス
 第九 縣ハ草履、草鞋等ノ集荷配給統制上必要ト認メタルトキハ既ニ爲シタル承認ヲ取消シ又ハ必要ナル事項ヲ命ズルコトアルベキモノトス

様式

草履、草鞋等買入販賣及在庫數量報告

昭和 年 月 分

品目	買入數量	販賣數量		在庫數量	摘要
		軍用重要工場用	一般民需用		

右及報告候也

昭和 年 月 日

鳥取縣農業會長

鳥取縣知事

殿

◇鳥取縣告示第二百三十九號
 價格等統制令第七條ノ規定ニ依リ本縣ニ於ケル黃蜀葵ノ最高販賣價格左ノ通指定ス
 昭和二十年六月十九日
 鳥取縣知事 高 橋 庸 彌

一 生産者又ハ其ノ組織スル團體ノ最高販賣價格

等級 單位
 受 渡 時 期
 七月中及 九月中 其ノ他ノ期
 八月中

上 正味一貫 二、八〇 二、〇〇 一、七五

中 同 二、四五 一、七五 一、五〇

下 同 一、七五 一、三〇 一、〇五

(イ) 本表價格ハ產地最寄驛又ハ產地最寄港渡價格トス

(ロ) (イ)ニ掲グル場所以外ノ場所ニ於テ受渡スル場合ニ於テハ本表價格ニ運賃實費ヲ加減シタル額トス

(ハ) 本表價格ハ荷造費ヲ含ムモノトス

(ニ) 藥品貯藏ヲ行ヒタルモノニシテ生産セラレタル年ノ翌年五月一日以後十月三十一日迄ノ期間ニ於テ販賣セ

ルモノニ付テハ本表價格ニ三十二錢ヲ加算シタル額トス

(外) 上下ハ青莖五分未滿ノモノニシテ根廻リ(切口ヨリ一寸乃至二寸ノ間ニ於テ最モ太キ部分、以下同シ)一寸五分以上、病蟲害痕ナク鬚根少キモノヲ謂ヒ、中トハ青莖五分未滿ノモノニシテ根廻一寸以上、一寸五分未滿、病蟲害痕ナキモノヲ謂ヒ、下トハ其ノ他ノモノヲ謂フ

(イ) 縣營検査ニ合格セルモノノ價格ハ(外)ノ規定ニ拘ラズ本表各等級ノ價格ニ七錢ヲ加算シタル額トス

二 日本原麻統制株式會社ノ最高販賣價格

(イ) 日本原麻統制株式會社ガ其ノ購入場所ニ於テ販賣スル場合ノ價格ハ其ノ購入價格ニ正味一貫二錢ヲ加算シタル額トス

(ロ) (イ)ノ受渡場所以外ノ場所ニ於テ販賣スル場合ハ(イ)ノ受渡場所以後要シタル運賃實費及諸掛(諸掛ハ積卸料、倉庫保管料、金利及倉庫出入庫料トス)ノ實費ヲ(イ)ノ價格ニ加算シタル額トス

◇鳥取縣告示第二百四十號

價格等統制令第七條ノ規定ニ依リ本縣ニ於ケル草履、草鞋ノ最高販賣價格左ノ通指定シ昭和十九年二月鳥取縣告示第六十號(草履等最高販賣價格指定ノ件)ハ之ヲ廢止ス
 昭和二十年六月十九日
 鳥取縣知事 高 橋 庸 彌

草履、草鞋最高販賣價格 單位一足

品 名 規 格 生産者 縣農業會 最終販賣 最高販 業會最高 賣價格 價格 販賣價格

藥草履 三五匁 以上 六、三寸 一六錢 一七、二〇錢

同 (中) 同 二〇 五、〇 一五 一六、二 一九

同 (小) 同 一五 五、〇寸 未滿 一三 一四、二 一七

草 鞋 三五匁 同 一〇 二一、二 二四

一 本表ニ掲グル草履ノ鼻緒ニ紙又ハ布ヲ卷キタルモノ又ハ竹皮草履ト雖モ本表價格ニ依ルモノトス
 二 本表規格以外ノモノニ在リテハ類似規格ノモノノ五割

下ゲトス

三 本表價格中縣農業會最高販賣價格ハ市町村農業會店先又ハ倉庫渡價格トス

四 縣農業會又ハ鳥取縣商業統制組合ガ自己ノ店先又ハ倉庫渡ニテ販賣スル場合ノ價格ハ本表縣農業會最高販賣價格ニ一、三錢ヲ加算シ得ルモノトス

五 本表價格ハ昭和二十年六月十九日鳥取縣告示第二百三十八號(鳥取縣草履、草鞋等集荷配給統制要綱)ニ依リ生産セラレタルモノヲ販賣スル場合ノ價格ニシテ右以外ノモノノ販賣價格ハ本表價格ノ五割下ゲトス

但生産地内居住消費者ガ自家用トシテ生産者ヨリ買受クル場合ノ生産者販賣價格ハ本表生産者最高販賣價格ニ依ルコトヲ得ルモノトス

六 本表價格ハ賣主庭先又ハ店先若ハ倉庫渡價格トシ荷造費ハ賣主ノ負擔トス

七 計算ノ最終ニ於テ生ジタル錢位未滿ノ端數ハ之ヲ切捨ツルモノトス

◇鳥取縣告示第二百四十一號

第六回獸醫手試驗施行地、試驗期日及受験願書提出期限等本縣關係分左ノ如シ

昭和二十年六月十九日

鳥取縣知事 高橋 庸 彌

一 試驗施行地、試驗期日、願書提出期限等

試驗施行地	學說試驗	試驗期日	願書提出期限
岡山縣	自 昭和二十年八月三十日 至 九月二日	自 昭和二十年九月三日 至 九月五日	昭和二十年七月三十日

都合ニ依リ試驗期日ハ之ヲ延長スルコトアルベシ

學說試驗及實地試驗ノ日時割及試驗場ハ追テ受験者ニ通知ス

二 受験資格 特ニ受験資格ノ制限ナシ 但シ六年ノ懲役若ハ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者又ハ墮者、啞者若ハ盲者ハ試驗ヲ受クルコトヲ得ズ

六年未滿ノ懲役若ハ禁錮ノ刑ニ處セラレタル者又ハ獸醫事ニ關シ罰金ノ刑ニ處セラレ若ハ不正ノ行爲アル者

ハ受験セシメザルコトアルベシ

實地試驗ハ學說試驗ニ合格シタル者ニ非ザレバ之ヲ受クルコトヲ得ズ

學說試驗及實地試驗ハ分チテ之ヲ受クルコトヲ得

三 受験願書提出方試驗ヲ受ケントスルモノハ受験願書ニ試驗ノ種類(學說試驗及實地試驗又ハ學說試驗若ハ實地試驗ノ別)ヲ記シ履歷書(氏名ニ振假名ヲ附スベシ)ヲ添ヘ試驗施行地ノ地方長官ニ提出スベシ

試驗ヲ出願スル者ハ手數料トシテ金五圓(學說試驗又ハ實地試驗ノミ出願スル者ハ各金參圓)ヲ納付スベシ(其ノ金額ニ相當スル收入印紙ヲ願書ニ貼付シ消印スベカラズ)

願書ヲ郵送セントスル者ハ書留郵便ヲ以テシ封皮ニ「獸醫手試驗受験願書在中」ト朱書スベシ

出願者ニ發スル通信ハ總テ願書ニ記載セル住所宛之ヲ爲スモノトス

四 已ムテ得ザル事由生ジタルトキハ試驗施行ノ地ヲ變更シ試驗期日ヲ延期シ又ハ試驗ヲ中止スルコトアルベシ

◇鳥取縣告示第二百四十二號

健康保險法國民健康保險法並船員保險法ニ基ク保險醫左ノ通異動アリタリ

昭和二十年六月十九日

鳥取縣知事 高橋 庸 彌

診療所所在地	氏名	異動事項	異動年月日
米子市加茂町二ノ四十番地	大湯 哲郎	死亡	昭和二十年五月十七日